

## ○理化学課 食品担当

当係では、市場に流通する食品等について、残留農薬や食品添加物等の行政検査を実施しています。また、食中毒等に係る理化学検査、試験検査の信頼性を確保するための精度管理、健康危機管理等に対する検査体制の整備、県その他機関や大学等との共同調査研究等を行っています。令和元年度の概要は次のとおりです。

### 1 行政検査

佐賀県食品衛生監視指導計画に基づき、市場から収去された食品等について検査を実施しています。令和元年度の検査状況は表1のとおりです。

#### (1) 残留農薬

農産物について国産品(主に県産品)66検体の検査を実施しました。農薬が検出された検体は、22検体であり、残留基準がない農薬が一定量(いわゆる一律基準)を超えて検出した検体が、ほうれんそうで2検体ありました。

#### (2) 残留動物用医薬品

畜水産物(牛乳、魚)10検体の検査を実施しましたが全て検出されませんでした。

#### (3) 食品添加物

加工食品96検体について着色料、保存料、甘味料、発色剤の検査を実施しましたが、成分規格及び使用基準に適合しない検体はありませんでした。

#### (4) 重金属等

器具(陶磁器)15検体について、カドミウム及び鉛の検査を実施しましたが、規格値に適合しない検体はありませんでした。

#### (5) 酸度、比重、乳脂肪分、無脂乳固形分

牛乳3検体について成分規格の検査を実施しましたが、全て適合していました。

表1 佐賀県食品衛生監視指導計画に基づく収去検査の状況(令和元年度)

検査区分		検体数	延検査項目数
残留農薬	農産物 国産品	66	6,834
残留動物用医薬品	畜水産物	10	50
食品添加物	加工食品	96	489
重金属等(カドミウム、鉛)	陶磁器	15	30
乳の成分規格	牛乳	3	12
計		190	7,415

### 2 食中毒(疑い含む)に係る検査

保健所による食中毒調査に基づき依頼された食品等について検査を実施しました。令和元年度の検査状況は表2のとおりです。

表2 食中毒(疑い含む)に係る食品等の検査状況(令和元年度)

事例	検体	検査項目	検査方法	検体数
1	吐物	セレウリド	LC/MS/MS	1
	食品等	セレウリド	LC/MS/MS	11
		黄色ブドウ球菌エンテロトキシン	ELISA法	
		有害有機物質	LC/MS/MS	1

### 3 苦情等に係る検査

保健福祉事務所による苦情調査に基づき食品等について検査を実施していますが、令和元年度は依頼がありませんでした。

### 4 精度管理

試験検査の信頼性を確保するため、試験検査の業務管理(GLP:Good Laboratory Practice)を徹底し、第三者機関による外部精度管理調査に参加しています。

GLP 外部精度管理調査 件数: 3件 延項目数: 19

### 5 技能試験

厚生労働科学研究で実施された食品の技能比較試験に参加しました。

件数: 2件(サバ缶詰) 検査項目: ヒスタミン

### 6 健康危機管理関係

健康危機管理対策として、毎年度、地方衛生研究所全国協議会九州支部理化学部門模擬訓練に参加する等、理化学検査体制の充実を図っています。

### 7 調査研究

環境衛生担当及び医薬品課と共同で調査研究を行っています。

- ・危機管理のための迅速スクリーニング法に関する研究